

1 日時 平成 29 年 4 月 27 日(木)午前 10 時から午前 11 時 20 分

2 場所 生駒市役所 4 階 大会議室

3 出席者

○生駒市環境マネジメントシステム推進会議委員

青木委員、奥田委員、楠下委員、楠委員、小宮山委員、桜井委員、寒川委員、新海委員、杉山委員、辻垣委員、寺内委員、中畑委員、宮崎委員、宮地委員、矢田委員

○事務局

石畑地域活力創生部長、川島環境モデル都市推進課長、大窪環境モデル都市推進課課長補佐、北里地球温暖化対策係長、竹田、鈴木

4 会議の要旨

●委員紹介

委員就任後初回の会議であるため、各委員の自己紹介が行われた。

●生駒市環境マネジメントシステムの概要説明

事務局より「平成 28 年度生駒市環境マネジメントシステム運用方針」に沿って、制度の概要、条例上の位置付け、これまでの経緯等を説明。

●案件

(1)会長及び副会長の互選について

委員の互選により、会長に楠下委員、副会長に楠委員が選出された。

(2)生駒市環境マネジメントシステムの運用について

事務局より、今年度のシステム運用について、資料1、資料2、平成 28 年度生駒市環境マネジメントシステム運用方針を用いて説明。

◆前年度からの改善点

- ・ヒアリング監査対象所属を、15 所属から 35 所属に増加
- ・ヒアリング実施時間を、20 分程度／所属から 30 分程度／所属に延長
- ・帳票 3(別紙)の実施状況を、「実施した／実施していない」の 2 区分から、「実施した／実施していない／該当しない」の 3 区分に変更。
- ・責任を持って記入する意識を持たせるため、帳票に「記入担当者 確認責任者」を記入する欄を追加

◆今後のスケジュール

委員 17 名を 5 つの班に分け、それぞれ 25 所属ずつ程度を書類監査。その結果に基づき、ヒアリング先を 7 所属/班に絞りこみ、ヒアリング監査を実施予定。

◆質疑応答

質問:環境監査報告書は市のホームページに掲載されているのか?

事務局回答:市のホームページに掲載している。

質問:報告書に記載された改善が必要な項目について、具体的にどう改善したのかについてもホームページに掲載しているのか?

事務局回答:各所属に対するコメントについては、ホームページでの公開ではなく、全ての所属に対して個別にフィードバックを実施している。庁内で開催している部課長会議でも徹底してもらうよう周知している。それを踏まえて平成28年度の目標設定等に活かしており、前年度の改善点を反映した平成28年度の結果については現在集約中であり、今度の監査で点検していただくこととなる。

質問:マネジメントシステムはいつまで続けていくのか?LAS-Eのようにステップアップの目標・ゴールはあるのか?

事務局回答:独自システムでは、ステップアップの目標は設定していないが、市民の主体性を重視するLAS-Eの精神は引き継いでおり、市民主体の事業を増やしていきたいと考えている。現行の環境基本計画は平成30年度で終わるため、今年度と来年度で新しい環境基本計画についてどのようにしていくかを考える時期となっている。推進会議の役割やシステム運用方法も計画をつくっていく中で練り直していこうと思っているが、新計画が出来るまでは現行の監査方法を続けていく。

質問:昨年、書面監査時に膨大な資料を郵送でもらい、筆記が必要だった。データ入力の方が早いので、記入様式をデータでもらうことは可能か?また、帳票も膨大で探すのに時間がかかる。目次を付けるなど検索しやすくすることは可能か?

事務局回答:様式のデータ送付は可能。希望される方で携帯電話のアドレスを登録いただいている方は、PC等受信可能なアドレスを連絡してほしい。目次等の検索も対応していく。

(3) 専門チーム会議委員について

数値目標の妥当性については別途詳細な検討が必要なことから専門チームにおいて議論してきたが、今年度も同様の運用で進めることが承認された。

専門チーム会議委員は会長が指名すると規定されており、次の4名で構成することが承認された。
楠下会長、楠副会長、矢田委員、小宮山委員

◆その他

事務局より事務連絡

・日程について

第2回の推進会議を6/21~6/26に、第3回/第4回を7月に予定している。日程調整表を添付しているので5月12日までにFAXかメールで返送してもらいたい。

委員より意見

「平成28年度版 生駒市環境マネジメントシステム 運用方針」は、年号の表記が西暦と和暦混在になっている。理解しやすくするためにも西暦/和暦を併記してほしい。